

● 「初音ミク」 エアポート・トレインの運行延長について

タイ王国・バンコク都において運行している「初音ミク」エアポート・トレインの運行期間を11月まで延長することになりました。

列車内の全ての広告で札幌の観光をPRしている「初音ミク」トレインは、乗客から「北海道に行きたくなった」といった声も上がるなど、地元の方々から好評を得ており、北海道・札幌に訪問したいというきっかけをつくるものとして効果的な事業となっています。

10月から「新千歳ーバンコク」直行便が毎日運行となることに加え、同都においては、同月に北海道物産展を行うほか、11月には旅行会社向けのセミナーを予定しており、これらの事業にも好影響を与えることが期待されることから、9月15日までとしていた運行期間を11月15日まで2カ月間延長することとしたものです。

札幌市では、今後も、同国とのさらなる関係強化を図っていくことで、観光客誘致や貿易の拡大などをはじめとした経済交流の取り組みを促進していきます。

1 運行期間の延長

予定していた8月16日（金）～9月15日（日）の期間を11月15日（金）まで延長。

2 運行延長による効果

媒体効果：約632万人（2カ月）

（内訳）乗降客数：500万人（＝250万人×2カ月）

ARL駅周辺の住民、通行人：132万人（＝1駅8.3万人×8駅×2カ月）

3 事業内容

同国のスワンナプーム空港駅と都心のパヤータイ駅間を結ぶ高架鉄道の列車に、本市と「シティプロモート分野の連携に関する協定」を結ぶクリプトン・フューチャー・メディア株式会社のキャラクター「初音ミク」のラッピングを施すとともに、列車内の全ての広告を札幌の観光PRに使用している。



4 観光客の増加について

平成25年度のタイからの来札者数は、当該広告の延長も含めた観光プロモーションの実施により、平成24年度比約1.5倍（約27,000人→約40,000人）を見込んでいる。

問い合わせ先

観光文化局観光コンベンション部観光企画課（MICE推進担当） 高橋・北川

電話：211-2376